	M	inam	i Kyusł	nu Univ	ersi [.]	ty Syllabu	s		
シラバス年度	2025年度 開講キャンパス			宮崎キャン	パス	開設学科	研究科食品学専攻		
科目名称	食品機能科学特	論 I		•	•		授業形態	講義	
科目コード	690670	単位数	2単位	配当学年		実務経験教	T員	アクティブ ラーニング	0
担当教員名	永田 さやか			•	•	•	•	ICT活 用	
授業概要	この授業では、食品から発見された機能性成分について、実際に健康食品や医薬品へ応用するための手段や方法について学習します。 その際にどのようなデータが必要でどのような実験が必要になるのか、また、その際に利用される実験方法などについて理解する事を 目指します。								
関連する科目	この授業の履修前に「食品機能学」「生理学」の教科書や参考書などで復習しておくことが望ましいです。 また、大学院「食品機能科学特論I」、学部の「食品機能学」「生理学」を履修している事が望ましいです。								
	この授業は、パワーポイントを使って進めていきます。その際に自由に討論、質問が出来る時間を設けます。 最後にまとめのレポートを提出してもらうため、必要に応じて板書を行ってもらいます。								
		或分を健康	東食品や医薬品と	: して応用するま; iのようなデータ;		↑る。 どのような実験が必要なの	つか、その際に行	う実験の方法など	さについ
授業の到達目標	食品の機能性成	分が健康1	食品や医薬品とし	、て応用されるま	での課程 <i>た</i>	^{が理解できるようになる薬}	事を目指します。		
学位授与の方針 (DP)との関連						技能╱1. 知識・技能と教え 予で捉え、客観的に評価が		決のために知識・	技能を創
授業時間外学習【予習】	この授業を受講 ておくこと。	する前に、	現在、どのよう	な健康食品が販	売されてに	いるのか、また、自分はる	ごのような健康食	品が気になるのか	いを調べ

授業時間外学習【復習】	授業で学んだ健康食品について復習し、レポート作成のために調べること。
課題に対する フィードバック	質問や討論する時間を設けるため、その際に疑問点についての詳しい解説を行う。
評価方法・基準	最終レポートによって評価します。
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書	・「食の機能と健康の科学」日本食品安全協会(2022) ・「シンプル解剖生理学」河田光博・樋口隆 著、江南堂(2021)
備考	